



診療・介護・障害福祉サービス報酬 2024年度トリプル改定に向けて 意見交換会 開催



2024年度同時改定の診療、介護、障害福祉サービスが有機的な連携を行うために、制度横断的な意見交換会を開催すると厚生労働省が発表しました。3月以降に3回程度意見交換会を開催した後に、各個別改定項目を議論する予定です。

この開催の目的は、新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた今後の健康危機管理やポスト2025および2040年を見ずえた課題や方向性の共有であり、具体的な報酬に関する方針を決めるものではないとしています。

切れ目のない医療・介護提供体制構築のため、医療計画と介護保険事業計画の上位方針である「総合確保方針」改定の素案が出ています。意見の共有にあたり、今後の医療・介護体制の基本的方向性の参考とされています。

意見交換会での議題



- 地域包括ケアのさらなる推進のための医療・介護・障害福祉サービスの連携
- 高齢者施設・障害者施設等における医療
- 認知症
- リハビリテーション・口腔・栄養



- 人生の最終段階における医療・介護
- 訪問看護
- 薬剤管理
- その他



- 総合確保方針の意義について2025年の後に生産年齢人口減少が加速化することなどを勘案する。
- 総合確保方針の基本的方向性の5本柱について、次のように見直す。

- (1) 「地域完結型」の医療・介護提供体制の構築
(新型コロナウイルス感染症で浮上した課題を踏まえ「さらなる機能分化・連携を進めていく」考えを明確化)
- (2) サービス提供人材の確保と働き方改革
(サービスの質を確保しつつ、従事者の負担軽減が図られた医療・介護現場の実現などを旨とする)
- (3) 限りのある資源の効率的かつ効果的な活用
(人口減少に対応した全世代型の社会保障制度の構築を目指す)
- (4) デジタル化・データヘルスの推進
- (5) 地域共生社会づくり



参考 総合確保方針 見直し(素案)



参考 ポスト2025年の 医療・介護提供 体制の姿(素案)



- 医療・介護を提供する主体の連携により、必要ときに「治し、支える」医療や個別ニーズに寄り添った、柔軟かつ多様な介護が地域で完結して受けられる。
- 地域に「健康・医療・介護等に関して気楽に相談できる専門職」やその連携が確保され、さらにそれを自ら選ぶことができる。
- 健康・医療介護に関する安全・安心の情報基盤が整備されることにより、自らの情報を基に、適切な医療・介護を効果的・効率的に受け取ることができる。





高齢者の入浴事故 ヒートショック対策と予防



ケア・ライフ・デザイン
きらみさお
代表 吉良 操

12月から2月の寒さが厳しい時に注意しなければならないのは入浴時のヒートショックです。生命にかかわる危険性があり対策や予防が必要です。

ヒートショックとは急激な温度変化により血圧が大きく変動(寒い脱衣場・浴室→血圧上昇、熱い浴槽→血圧低下)するなど身体に大きな負荷がかかり失神や熱中症症状がみられます。また持病がない健康な人でもヒートショックは起こります。

ヒートショックによる最近の死亡者は年間約1万9千人で、その9割は高齢者です。

脱衣場と浴室を
入浴前に温める



- 入浴の前に、あらかじめ脱衣場や浴室を温める。
- 浴室に入る前に、シャワーの蒸気で温めるなど。



湯温は41度以下に
浴槽につかる時間は
10分以内に



- 長時間お湯につかるとのぼせ、意識もうろうとなり熱中症の恐れ。

浴槽からは
ゆっくり立ち上がる



- お湯につかっている間は、身体に水圧がかかっており、急に浴槽から立ち上がると急激な血圧変動を起こし、転倒する危険がある。
- 手すりや浴槽の縁などをもって、ゆっくり立ち上がる。



一人で入るときは
家人に声をかけてもらう



- 1時間以上浴槽の中にいると、体温が浴槽水温と等しくなり危険。
- 入浴時間が長くなったら、声かけや見回りをお願いしましょう。

飲酒後
食後の入浴は避ける



- 飲酒、食後は、食後低血圧で失神による事故死リスクがある。
- 体調がすぐれないときや睡眠薬を飲んだ時にも、同様のリスク。



■ 長寿科学振興財団 健康長寿ネット 「高齢者の入浴事故 ヒートショック対策と予防」
<https://www.tyojyu.or.jp/net/kenkou-tyoju/koureisha-sumai/koreisha-hitoshokkutaitsakutoyobo.html>

GREEN
CARE
FORUM
online

2023年医療介護デジタル化”元年”
医療DXとは？ 介護現場はどう変わる

2023年2月24日(金) 15:00~16:30



私たちグリーンケア取扱店に、お気軽にお問い合わせください。



きぬせん福祉用具研究会

千葉県船橋市海神四丁目9-18

連絡先：047-433-1012 FAX：047-433-1034

mail：info@kinusen.net URL：https://kinusen.net

